



インマヌエル便り

**IMMANUEL**



「神われらと共にいる」家は常に平和なり

社会福祉法人 婦人の園  
障害者支援施設 インマヌエル  
静岡県駿東郡小山町大御神356-7

広報 2018 年度版



二〇一八年の言 ロミエ

わたしは山にむかって目をあげる。

わが助けは、どこから来るであろうか。

わが助けは、天と地を造られた主から来る。

主はあなたの足の動かされるのをゆるされない。

あなたを守る者はまどろむことがない。

見よ、イスラエルを守る者は

まどろむこともなく、眠ることもない。

主はあなたを守る者、

主はあなたの右の手をおおう陰である。

昼は太陽があなたを撃つことなく、

夜は月があなたを撃つことはない。

主はあなたを守って、すべての災を免れさせ、

またあなたの命を守られる。

主は今からとしえに至るまで、

あなたの出ると入るとを守られるであろう。

(詩篇 第一二一篇)

## 「支え合う支援」

### 「私たちの支援について」

理事長 高橋 頼太

インマヌエルでは「自分を愛するように、あなたの隣人を愛しなさい」—マタイによる福音書 19:19—を理念とし、自分を愛するように隣り人（利用者・同僚等）を支援することを目標に掲げ、開設以来三十六年間に渡って実践に努めてまいりました。

今年度のインマヌエルでは、それらの積み重ねに立脚しつつ、「支え合う支援」をテーマといたしました。

これは、「利用者と職員」という関係の中だけで支援を完結させるのではなく、「職員同士」「利用者同士」「地域とインマヌエル」「保護者とインマヌエル」等といった多様な関係のうえに私たちが成り立っていることを自覚し、それらの繋がりによって編み出された「ネットワーク」を基盤とした支援を行っていくという意味です。

私達は福祉施設の職員である以上、まず支えなければならぬのは目の前にいる利用者ですが、その一方で、私達自身も別の「誰か」（職員・利用者・地域・保護者・行政等）によって支え

られていることも自覚しなければなりません。

これらの点を踏まえ、今年度は「本人理解と合理的配慮に基づく意思決定支援」「障害者虐待防止法等に関わる取り組みの強化と遵守」等を重点項目に位置付けて、園内での支援のいっそうの充実に努めると共に、外部との関係にも重点を置き、他法人・他施設との連携にも力を入れてまいります。

また、「支え合う支援」とは単に利用者との関係づくりに限らず、より良い職場づくりに努めていくうえでも大事にしなければならないと考えております。職員が仕事だけでなく自分のプライベートも大事にし、かつ職員同士がお互いを支え合える職場づくりのために、労働時間や一日の過ごし方等について抜本的な見直しに取り組んでいきます。

私達の支援は普段、「施設」という限定された空間の中で完結しがちですが、それだけでは福祉のことを良く知らない人々の目には届かないものに終始してしまいます。

昨年春の社会福祉法改正以降、「社会福祉法人だからこそ出来ることは何か？」という社会から私達に突きつけられている問いに答える必要があります。「社会福祉法人にはこんなに素晴らしい力が存在している！」ということをより積極的に発信していくためにも、私達は全ての「繋

がり合える人達」と手を取り合い、「共に生きる」社会を目指して、様々な取り組みを進めてまいります。



支援部長 井出 貴也

今年度より、支援部長という大役を任される事になりました。大役というと変に身構えてしまう為、気持ち的には今まで通りの自分でいたいと思っています。

これまでも自分が大切にしてきたもの、「利用者さん一人ひとりの気持ちを大切にする」を基本として、心と体をつかって利用者さん、職員さん一人ひとりの生活充実につながるようにし、みんなで笑顔の多い、心豊かな日々をおくれるようにと考えています。

至らないところも多々あるとは思いますが、みんなで支え合って、良い学園にしていけるよう頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。



事務長 対馬 淳

私がインマヌエルに事務員としてお世話になって、一五年以上が経過した。当時から交渉が進められてきた「第二東名建設に伴う施設の移転」が現実となった。後二年で新施設に皆で移ることができるとは夢の様である。これも歴代の理事長、施設長を始め、関係した全ての皆様の尽力に他ならない。

この文を書いている平成三〇年八月の時点では移転予定地の造成がほぼ完了している状態。赤茶けた土がむき出しになっているだけで何も無い。何も無いこの場所に新しい建物がニヨキニヨキ生えてくるのかと思うと、今から心躍る。

新インマヌエルがどのような施設になるか、建物などの外見だけではなく、住む利用者さんとお手伝いをする職員が形作っていく。月並みな言葉ではあるが、皆様のご指導の下、皆が笑顔で過ごせるような施設としていきたい。



サービス管理責任者 吾妻 浩子

こんにちは。4月からサービス管理責任者になりました。まだまだ勉強不足です。

女子の利用者さんとは付き合いは長いですが、男子の利用者さんの事も知っていく努力をしたいと思います。新たな発見をするのが楽しみです！ここでの生活、夢、頑張っている事、悩んでいる事など、色々教えてくださいね♪  
頑張ります！



## インマヌエルの自然

高橋 みどり

インマヌエルの自然は豊かだ。春はまずオオイヌノフグリ、そして、ふきのとう、つくしと顔を出し、やがて、すみれ、たんぽぽがたくさん咲く。そこに梅、桃、富士桜と咲いて賑やかだ。4月の創立記念日の頃には、けやきの若葉が出てきて、5月の運動会の頃には、新緑が気持ちの良い木陰を作ってくれる。やがて、ツバメたちがやってきて巣づくりが始まる。

梅雨の時期は様々な種類の紫陽花、ホタルブクロ、月見草等が咲き、夜はカエルの合唱だ。そして、夏本番となると、今度は蝉の大合唱が聞ける。ヒグラシやミンミン蝉が多いので、清々しい音色。サルスベリが濃いピンクの花をつけ、芙蓉の花も白やピンクの大輪で咲きそろふ。

秋の始まりは赤トンボから。そして次々に野菊、あざみ、なでしこ、ひがん花等、数々の草花が咲く。なんでもショップの横で柿の葉がみごとなオレンジ色に変わり、たくさんの実をつける。山栗も近年豊作だ。中庭では、けやきが一本ずつ少しずつ違った黄やオレンジに色を

変え、そのグラデーシオンが美しい。食堂からの眺めはかえでの紅葉で日本画のようになる。冬は厳しい寒さになるが、雪の日は、園をとりに囲んだ松の林の深い緑とのコントラストがみごとだ。そして冬は星がとても良く見える。広いグラウンドの上の空はたくさんの星座で覆われる。

私たちは自然に恵まれたこの場所で生活してきた。そして、初代理事長高橋道雄先生の構想で作られた園庭は、年を重ねてより美しくなった。私たちはこの環境に意識的にも、無意識的にも助けられてきた。移転を前におさらそう思う。だからこそ、移転後の新しい場所では、これまで以上に自然に囲まれた環境を整える努力をしていきたい。そして、園内の皆のためだけでなく、園を訪れる方々にも喜んでいただける場所にしていきたい。



野 菊



インマヌエルの中庭



グラウンドより

尾崎先生とインマヌエル

高橋 みどり

尾崎先生は2012年から理事として、そして、坂本先生の亡くなった後、2014年から後を引き継いで、理事長としてインマヌエルのために尽くしてくださいました。その尾崎先生が亡くなられたのは、2017年1月だった。

2012年、当時、特別支援学校の校長会の会長をしていた尾崎先生が、インマヌエルの理事を引き受けてくださった時、「坂本先生に頼まれたら、断れる訳がないです」ということを繰り返し仰っていた。

今から四十年以上前、尾崎先生がかつて矢口養護学校の新卒の教員だった頃、坂本先生は職員皆から尊敬される教務主任の先生だった。私は尾崎先生と同期の教員だったけれど、坂本先生は雲の上の人で簡単に話しかけることができなかったのに、尾崎先生は帰りの時間や電車の経路まで坂本先生に合わせて、一緒に帰るようにして話をする程、積極的だった。そして、その時代からの交流もあり、尊敬する気持ちをずっと持ち続けておられたのだと思う。

理事会での尾崎先生は、色々な話をずっと黙って聞いておられたと思うと、大切なところを捉えて問題を整理してくださった。矢口養護学校の頃

から変わらない、そういう時の的確さと説得力。

そして、移転の問題に理事長として関わってくださった時、交渉の席でその力を発揮してくださいました。また、そうした中で、まだ若い頼太先生を次の理事長に育てるために導いてくださった。

東京での告別式で、何人かの方が尾崎先生のことを「福祉の仕事をしていなかったら、詐欺師になれた人」と(誉める意味で)仰っていたけれど、尾崎先生自身は若い頃、自分のことを策士と言っていた。そういうことが得意だとも言っていたけれど、尾崎先生の好きなのは、物事に純粋に向き合って頑張っている人達で、そういう人達を応援するための策士でありたい、と言っていた。

亡くなられた後、奥様からのお手紙に尾崎先生はインマヌエルのことを「いい所なんだよ、いい教会だよ」と話されていたと書いてくださった。病気が進行してたくさんのお仕事を整理し始めてからも、インマヌエルの仕事は続けるとも仰ってくださいました。

もともと、カソリックのクリスチャンであった尾崎先生だが、教会にはずつと行っていないと聞いていた。聖書を読めない障害のある子に神様の言葉は届かないとも若い頃は言われていた。でも、インマヌエルでは礼拝に参加し、大森の教会にも来て下さり、聖誕劇をとっても喜んでくださった。亡くなる二十日程前、聖誕劇の後の講評で、「聖

誕劇は永遠に続きます」と言ってくださいました。

告別式の日、頼太先生が選んだ聖書の御言葉はピリピ人への手紙 一章九節〜一節だった。

「わたしはこう祈る。あなたがたの愛が、深い知識において、するどい感覚において、いよいよ増し加わり、それによって、あなたがたが何が重要であるかを判別することができ、キリストの日に備えて、純真で責められるところのないものとなり、イエス・キリストによる義の実に満たされて、神の栄光と、ほまれとをあらわすに至るようになる。」

尾崎先生、本当にありがとうございました。今は天国で坂本先生とどんなお話をされていますか？できるだけ御心配かけぬようがんばりますから、これからもインマヌエルを見守っててください。



# ★インマヌエルの1年★

2017年10月～2018年9月末

10月

- 1日 ふれあい広場
- 9日 インマヌエル祭
- 23日 誕生日会



11月

- 2日 AB実習
- 20日 誕生日会



12月

- 5日 キャロリング
- 20日 聖誕劇
- 24日 クリスマス礼拝
- 25日 晩餐会



1月

- 4日 冬休み外出 (男子)
- 7日 尾崎先生記念礼拝
- 7日 新年礼拝
- 15日 餅つき大会



2月

- 11日 フットサル大会
- 14日 バレンタインデー
- 19日 誕生日会



3月

- 2日 ひな祭り
- 8日 比留間さんお別れ会
- 21日 内藤さんお別れ会
- 23日 D実習



4月

- 1日 イースター礼拝
- 13日 E実習
- 20日 C実習
- 30日 創立記念日



5月

- 5日 ヒートアップ大会
- 11日 F実習
- 12日 フットサル大会
- 22日 運動会



6月

- 8日 A実習
- 16日 B実習
- 27日 面会日



7月

- 5～6日 D宿泊実習
- 13日 七夕会
- 26日 利用者外出



8月

- 13日 夕涼み会
- 28日 総合防災



9月

- 7日 E実習
- 8日 フットサル大会
- 12日 バス旅行
- 14日 B実習
- 25日 山中湖礼拝
- 30日 ふれあい広場



## 10月インマヌエル祭

作業作品の展示・販売、模擬店・ステージ発表等の企画をとおして楽しみながら地域の皆様、協力していただいたボランティアの皆様、保護者の皆様と交流を深めさせていただきました。

おかげさまで和やかで、とても雰囲気良いインマヌエル祭にすることが出来ました。



## 11月施設防災

実際の災害に備えて、利用者も職員も毎回真剣に訓練に取り組んでいます。

この時ばかりは皆真剣な表情になっています。炊き出しやテント設営も行なっています。



## 12月 第36回聖誕劇

イエス・キリストのご降誕のストーリーを劇としてみんなで演じました。寒い中猛練習を重ね、一人ひとりがそれぞれ自分の役を全うすることを通してクリスマスの出来事の意味を表してくれました。

とても良い劇にすることが出来ました。



## 12月忘年会・晩餐会

クリスマスへの理解を深めながらキャンドルサービスや美味しい食事をみんなで楽しみました。また、忘年会も一緒に行ない、サンタさんからみんなへのクリスマスプレゼントもありました。



# 行事報告 2017年4月から2018年3月まで

## 4月イースター礼拝

大森福興教会のイースター礼拝に参加。来て下さった方に職員紹介も行いました。



## 5月・9月・2月フットサル（インクルージョン杯）

フットサル大会に参加。一生懸命走って良い汗かきました。他のチームとの交流・チームとしての連帯感を深めることが出来ています。



## 5月運動会

赤青白組に分かれて一生懸命頑張りました。応援合戦では毎年各組、趣向を凝らした内容で競い合っています。綿菓子食い競争ではみんな苦戦していました。



## 8月夕涼み会

職員によるバンド演奏やスイカ割りを楽しみました。夏をみんなで満喫できました。



## 9月宿泊旅行

ほぼ全員の利用者・職員で毎年恒例の旅行へ行ってきました。去年は修善寺の滝亭へ宿泊し虹の里にも行きました。のんびり過ごすことが出来て美味しい物もいっぱい食べました。思い出もいっぱい出来ました。





# ♪ 作業紹介 ♪

## 陶芸・創作班(作業棟班)

旧作業棟班は、陶芸・創作班と名前を新たにしました。

「陶芸」の本格開始は、移転後になります。試作は今年度中に開始予定です。粘土をたくさん寄付していただいたので色々作ってみたいです。

「創作」の中にはこれまでの作業内容が全部入ります。加えて絵を描く等の活動も行なっています。

<織物・刺子・編み物>

丁寧さと根気の必要な作業ですが、メンバーは自分の作品にプライドを持って取り組んでいます。メンバーのデザインによる作品も作っています。

<ビーズ作品>

細かいビーズから大粒のビーズまで各自の好みや力量に合わせて、ビーズ通しを主とした作業をしています。高齢になっても熟練の技で極小のビーズを通せる人たちもいます。男子メンバーの取り組んできたのれんも今年は完成しそうです。

<木幹・木工>

主として櫟の木幹を磨いています。加えて檜の木材を小さく切って磨き、入浴剤の製作を開始しました。



## アート・機能維持班(イエローハット班)

イエローハットでは、1人ひとりの個性や感性を大事にしながら作業を行っています。

牛乳パックを使った和紙作りをメインに作業を行っています。他にも手先を上手に使ったビーズづくりや、感性豊かな色彩で絵画を楽しんでいる利用者さんもいます。

「今日は、これがしたい!」と言って作業を楽しみにしている声や、自分で道具を用意してきて、作業にとりかかる姿もたくさん見られています!作業以外でも、お掃除にも力を入れてくれる利用者さんもいます。イエローハットの個性いっぱいな雰囲気を大事にしていきたいです。



# リサイクル・畑班

養鶏班改めリサイクル班として、新たに新作業を開始し始めています。まだまだ出来る事が少ないですが、ダンボール等の古紙回収をメインに頑張っていきたいと思います。その他にも、従来の農作業も継続して、美味しい野菜を作っています。今後も出来る事を考えて頑張っていきたいと思います。



# パン販売「みいちゃんパン」

地域のみなさま、「みいちゃんパン」をお引き立てくださり、まことにありがとうございます。おかげさまで「みいちゃんパン」も9年目を迎えます。保存料を使用しない手作りパンです。ぜひ、おめしあがりになってください。

みなさまの笑顔を楽しみにパン作業、移動販売をがんばっております。今後ともどうぞよろしく願い申しあげます。



# 掃除ボランティア

特別養護老人ホーム徳風園・平成の杜に行っています。徳風園には17年前から平成の杜は今年で4年になります。施設での仕事と違い、まだ戸惑う事も少しありますが、みんなも一生懸命頑張っています。



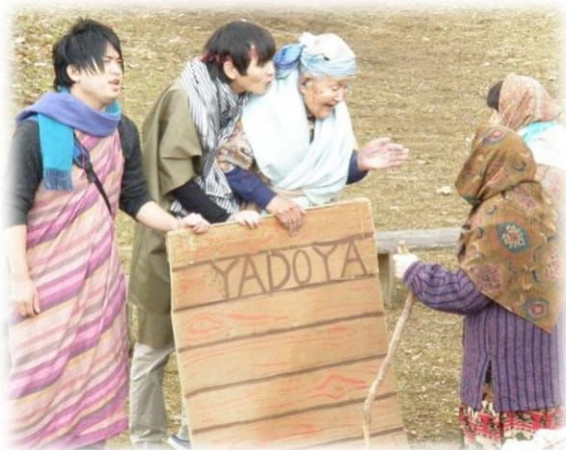
# インマヌエルの思い出のひとこま...♪







# 聖誕劇



# ～共に生きる～

～2016年～2018年に亡くなられた利用者の皆さんを偲んで～

【碓井 久夫さん】



【足立 典洋さん】



【比留間 京子さん】



【内藤 武美さん】



## 「三十五周年を振り返って」

前施設長 舟木 昭夫



今年の三月三十一日をもってインマヌエルを退職しました。今思うと、三十五年はあっという間でした。三月三十日には、昼食会を兼ねて、皆さんに「退職を祝う会」を、夜は職員の方々に送別会を催して戴きました。四ヶ月たった今でも、その時のことを思い出すと、温かいものが甦ってきます。

三十五年前、旧大森福興教会の廊下の椅子に座り、緊張して、面接の順番を待っていたことを懐かしく思い出します。「次の方どうぞ」と優しい声で、初代園長の高橋聖子先生から呼ばれ、教会堂の中に入ると、初代理事長の高橋道雄先生が座って居られました。今では、その時、何を聞かれたのか、何を答えたのか思い出せませんが、無事面接に受かり、インマヌエルでの仕事がスタート

しました。満三十歳の時です。それから三十五年の歳月は、一言では言い尽くせない、本当に様々な事柄がありました。しかし、今言えることは、「神様が全てのことを働かせて益として下さった」ということです。それは、インマヌエル（神われらと共にいます）が立っている基盤の故とも言えると思います。

十年目に私にとっては、大きな山があり

「この仕事は続けられない」

という思いが起りました。体調面でも、腎結石ができ、二、三週間入院しました。思えば、園創設以来、毎朝欠かさず礼拝があり、讃美歌が歌われ、聖書が読まれ、祈りがされてきました。そのことを通して、神様からの目に見えない働きかけが、私に対してあったと思います。入院中じっくり聖書を読む機会が与えられました。退院後まもなくして、私はクリスマスチャンになりました。初代理事長は、いつも

「インマヌエルは神様の栄光を現わすためにある！」

と言われていました。その言葉がとても心に残っています。同時に、何をすることが、神様の栄光を現わすことになるのかを、問われ続けてきたような気がします。

園創設以来、毎年実施されてきた移動教室（宿泊旅行）。苗代湖キャンプ、職員のサバティカルイヤー海外研修（ハワイ・アメリカ・カナダ）、園生の方々と行った三回のハワイ親善交流旅行

等々、いろいろな経験をさせてもらいました。その中で、楽しい思い出は、私自身の宝物です。多くの園生、職員の方々との出会い、別れ、笑ったり、怒ったり、泣いたりした日々は、ずっと心に焼き付いています。この紙面で、全ては言い尽くせませんが、皆さんに支えて戴いた三十五周年でした。有難うございました。

これからは、微力ながら、理事という立場で、園に関わらせていただきます。園の移転先も確定し、新施設建設に向けて、本格的に様々なことが始動していきます。園生一人ひとりの幸せと職員の方々、園に関わる全ての方々の幸せを心より願っています。私もこれから人生の後半に向けて、新たな気持ちで、前向きに生きて行きたいと思っています。

（文 二〇一七年八月）



## 利用者さんから舟木先生へ

優しくしてくれてありがとうございます。体に気をつけて下さい。

(高橋 恵子)

色々な物をくれてありがとうございます。また機会があったら遊びに来て下さい。健康には気をつけて下さい。

(深野 牧子  
高橋 武人)

舟木さん元気ですか。私は仲間達と元気になっています。あれから四ヶ月経とうとしています。私も頑張っ行ってきたいと思えます。

(石川 たま)

私が入院した時お見舞いしてくれてありがとうございます。作業も三沢さんと一緒にやっています。たまには舟木先生も顔を見せてください。作業やっているとところを見に来て下さい。

(堀内 和子)

舟木先生 ありがとう ♪  
これからも遊びに来てね ♡



元気でね。病気にならないように。また遊びに来て下さい。

(松田 信男)

辞めて寂しいです。今度また遊びに来て下さい。またあそこの喫茶店で飲みたいです。温泉にも行きたいです。頑張っ生きてください。僕は舟木先生に学園に戻っ来て欲しいです。

(田原 眞)

インマヌエル祭にも来て下さい。新しくなる施設にも遊びに来て下さい。食器洗い頑張った、ふっちゃんとのデートも楽しんでます。

(石塚 英夫)



舟木昭夫先生を送る会  
2017年03月30日

(文 二〇一七年七月)



# !就労支援実習!

インマヌエルでは現在、利用者の自己実現を後押しする為、就労支援実習を行っています。実習の内容は利用者それぞれのニーズによって園外・園内合計5種類のものがあります。利用者の皆さんはそれぞれ自分の目標を持って日々頑張っています。実習の種類は以下の通りです。

## 園外

清掃ボランティア（平成の杜・徳風園の施設内清掃）

パンの移動販売（パンの袋詰めなどの販売準備・販売接客の補助）

## 園内

パンの製造（製造補助・器具の洗浄）

厨房補助（食器洗い・食堂内清掃）

なんでもショップ（接客補助）



また、今年は5月5日に川崎市にあるプロレス団体ヒートアップ様より御殿場興行においての就労実習のお誘いを頂き、希望者が会場準備や興行運営の補助として参加させていただきました。ヒートアップの皆さんの適切な指示・支援もあり、皆さん普段とは違う状況に緊張した面持ちでしたがそれぞれの役割をしっかりと果たす事ができました。実習に参加しなかった利用者についても観戦にご招待を頂き一緒にプロレスの試合を楽しませていただきました。ヒートアップの皆様、本当にありがとうございました。





## 施設外活動



支援員 塩川 航史

東京都手をつなぐ育成会主催のインクルージョン杯といわれるフットサル大会に参加するようになって四年が経過しました。

最初は練習もしっかりできず、試合に行けば雰囲気にもまれ大量失点で負けてしまう事も多かったです。



しかし、少しずつ練習量も増やし、大会への参加回数が増えて行く中で、選手（五名の利用者）たちも、とても上手になり、大量失点の試合も減り、引き分けや勝利する事も増えました。年に三回行われるこの大会を通して、勝利する事だけでなく、チームの和も育む事ができています。



また、他施設のチームの方々との関わりも、選手にとっては新鮮で刺激のあるものです。毎回来るチームの選手とはかなり仲良くなりました。

お互いを認めあつたり応援する事で、同じステージにいられる楽しさや喜びを分かち合えています。

## みんなの頑張っている事、好きな事！！

インマヌエルの利用者の好きなものや人等々、みんなからの一言をまとめました！  
自分のことを表現するのが苦手な利用者については、職員が感じたことを載せています。



松井隆太郎さん：ビーズ！！好き！インマヌエルで頑張りたいです。休みはお家に帰りたいです。

松田信男さん：お友達が元気でずっといられますように。

西川真琴さん：社会復帰する為に、生活、作業を頑張っていると思う。  
少しの事でも怒らないように、冷静になるように頑張っている。

近谷貴英さん：社会復帰に向けて頑張りたいと思う。お風呂掃除を頑張っているのと、誰からも信用される人になりたいと思っています。

引間光明さん：帰省が一番楽しいです。お母さんと一緒に楽しみたいです。

石塚英夫さん：厨房のお手伝い（テーブルふき・食器洗い）、廊下の掃除を頑張っている。

斉藤富士子さん：作業の織り物を頑張っている。徳風園も頑張ったよ。  
お姉ちゃんと買い物できた事もよかった。

深野牧子さん：平成の杜に武ちゃんと2人で仕事を最後までやり遂げた。シュシュ作りを頑張りました。これからも頑張ります。

佐伯美枝さん：厨房の仕事で、玉ねぎむきとモップ掃除を頑張ってます。

清水久子さん：墓参りに行きたい。うどんを作った時、皆に食べてもらってよかった。うどんはうまくできたと思う。首の痛みを治したい。

杉原春美さん：平成の杜の皆、優しい、頑張っているよ。

落合由美さん：作業だと絵を描くのは楽しいかな。

山崎孝子さん：平成の杜の掃除、拭き掃除が難しいけど、頑張ってます。ビーズも作っています。



桐谷綱恵さん：厨房の食器洗い・ヤカンを洗ったり、仕事を頑張っています。

石井純一さん：ハンガーラック掛け頑張ります！お父さんとお母さんと、遊びたい！

大久保悠理さん：アイス・ジュース好き！ビーズ頑張っている。いろんな人と遊びたい。

岡田真司さん：買い物が好き。ダイエットを頑張っています。

奥野慎太郎さん：シュシュ作り頑張っています♪お母さんとお出掛けしたい。

長部俊江さん：ビーズと頑張っているよ！弟さんが好きだよ。

小畑みどりさん：ボールや、ドライブが好きです！お父さんとお母さんと一緒にいるのが好き。

北川綾美さん：お人形さんと一緒に過ごす事が好き。作業のお仕事をするのを頑張っています。

小林仁一さん：厨房の様子をみる事。コーヒー大好き！

駒野敦さん：ポッカのコーヒーを飲むこと。菊地支援員と遊びたい！

斉藤笙子さん：海がみたい。ミルクキャラメルが食べたい。

提箸満さん：仮面ライダーや戦隊物が好きです。消防車、救急車、工事の事もっと見たい。

杉山順子さん：絵を描くことが好きです！！

堀内和子さん：色々な人に手紙を書く事が好きです。



林忠洋さん：インマヌエルの食事！おいしい！

堀野智さん：お出掛けをする事。新聞をいっぱい読みたい。

村田治稔さん：古根村支援員が好き。紐で遊びたい。

湯山ゆかりさん：みんなの会話に入ること、本をめくることも好きです。

三浦浩さん：食べる事、ドライブが好きです。

お母さんと一緒にいたい



柳沢武さん：書く事、外出が好き！作業を頑張っています。

多胡義晴さん：旅行。思い出のある場所へ行きたい。

谷口昭子さん：パンが好き。コーヒーや音楽を聴いたりすることも好きです。

長坂美子さん：4班フロア掃除、朝毎日頑張ってやっています。

三沢明子さん：歌を歌ったり、お友達と過ごす事、動物を抱っこするのも好きです。

石川たまさん：全部あらゆることを色々頑張っているわ。

相澤順子さん：ゴミ捨てやコーヒー運び、作業にパンも頑張っています！！

橋本以恵子さん：コーヒー飲んだり、甘い物（あんこ）を食べるのが好きだよ。

高橋恵子さん：食べる事、寝ることが好きです。

北浦幸子さん：苺のショートケーキが好き！

お友達も好きです。



高橋武人さん：サッカーの中澤の試合を見にいきたい！

武田信行さん：肉食べる事が好きです。家族と一緒にご飯を食べたい

高村昭彦さん：パンづくりの仕事がんばっています！

天野晃一さん：お風呂にたくさん入りたい♪

田原真さん：コーヒーが好き。病院も出来るだけ行きたい。

沼倉仁さん：コーヒー・あんぱん！床枝支援員好き！



# 心の健康

看護師 沖野綾子

生活、仕事や人間関係のストレスであったり、いつも心が穏やかな状態にいるのは難しいですね。知らない間にストレスを溜めないよう、常に意識したいものです。



## 心の健康を保つ方法として

- ① 十分な睡眠、バランスの良い食事を心掛けましょう。  
心のバランスも整えます。
- ② 自分に合ったストレス解消法を見つける。  
ストレスと上手に付き合きましょう。
- ③ 身体の健康はこころの健康に直結しています。  
無理せず、楽しみながら続けましょう。
- ④ 過去は気にせず、完璧な自分を目指さない。  
満点は疲れます。七十点で暮らしましょう。
- ⑤ 小さくても、これからやりたい事や目標を持ちましょう。  
大きな夢があれば脳が活性化して、  
心身共に健康を維持できるだけでなく、輝いた人生になります。



笑っていると笑いたくなる事が沢山きます。  
笑顔が一番の健康ですね。



こんにちは！  
 今年の夏はとても暑い日が続きました。残暑も厳しかったです。  
 暑い日でも利用者の皆さん食事を楽しみにしてくれていてうれしいです。  
昨年、優良給食施設としてインマヌエル厨房が表彰されました。  
 これからも安全衛生管理に気を付けて食事を作っていきたいと思います。

厨房の新しい仲間を紹介します。



### 青木 智美

今年の4月から、待ちに待った栄養士さんが来てくれました。  
 とても優しく、物腰が柔らかいのでたちまち利用者の人気者♪  
 厨房にもすぐに打ち解けて、皆と和気あいあい楽しく仕事をしています。  
 栄養面での相談もできるのでとても頼りになります。



### 床枝 千穂

支援員の床枝修一先生の娘さんです。  
 始めは「料理の経験があまりない」と言う通り、  
 包丁で手を切ったり、うまく出来なかつたりと  
 苦戦していましたが、3年目を迎え、今では料理の腕をあげてきました。  
 厨房に若い風が吹いて私達も良い刺激になっています。これから  
 インマヌエルの厨房を背負って立ってもらいたいと期待しています。



### 山形 良雄

平成の杜からはボランティアで月曜、水曜にお手伝いに来て  
 いただいていたのですが、昨年の4からは、パートで月、水、金  
 働いてくれています。元々板前さんなので包丁捌きは見事なものです。  
 とても几帳面で、掃除も丁寧にやってくれます。  
 真面目にコツコツと仕事をしてくれるので本当に助かります。



### 吉野 博之

昨年6月にインマヌエル厨房に戻ってきました。  
 紹介するまでもないと思いますが、吉野先生と言えばパーティーの  
 にぎり寿司！！今後のパーティーも楽しみにして下さい。



働き者の小野先生、ラーメンの得意な木村健太郎先生と  
 利用者さん3名、(石塚さん、佐伯さん、桐谷さん)に  
 助けてもらいながら皆で力を合わせて、おいしい食事を作っていきます。

厨房チーフ 長田祐子

## 新任職員の紹介

「よろしくお願ひします」



沖野 綾子

昨年からは保健室でお世話になっております。月日が立ち、何となく一人一人の個性が分かってくるかな？という感じです。

このような施設は初めてなので、他の職員に話を聞き、今までの今までの知識から手探りで模索しているところです。園生の皆さんを

① よく聞くこと  
(本人から、職員から)

② よく知ること  
(病歴、家族)

③ 他の人と比較しない

健康で穏やかな日々を過ごせるようにお手伝いできればと思っております。よろしくお願ひします。



「よろしくお願ひします」

杉崎 未奈



一昨年の四月より支援員として働かせていただいています。

初めての職場ということもあり、始めは毎日不安とドキドキの日々でした。時には落ち込んでしまうこともありましたが、園生の皆さんが心優しく励ましてくれました。私も園生の皆さんを励ましていきたいと感じました。

まだまだ分からないこともたくさんあり、毎日が勉強の日々ですが、園生の皆さんの笑顔を励みにし、一緒に充実した毎日が送れるように頑張っていきたいと思ひます。これからもよろしくお願ひします。



「よろしくお願ひします」

床枝 千穂



一昨年の四月から厨房でお世話になっております。

この仕事に就くのは初めてで、分からないことや知らないことがたくさんありますが、厨房の先生方に一つ一つ教えていただきながら、おいしく元気の出る料理を作っています。

園生の皆さんが「いただきます。」「ごちそうさまでした。」「おいしかったよ。」と元気に言うてくださるので、毎日私も元気にになります。

少しずつですが、日々成長していききたいと思ひます。

これからもよろしくお願ひします。



「人生の再出発」



山形 良雄

平成二十九年四月に正式採用されて勤務しています。

生まれは青森県弘前市です。板前として全国各地で腕をふるっていましたが、伊豆の温泉旅館に住み込みで働いていた期間が一番長いです。平成二十八年五月から、養護老人ホーム平成の杜で生活していますが、職員の皆さまのおかげで仕事に就くことができて、とても感謝しています。

インマヌエルの皆さまにも色々とご指導いただき、仕事にも慣れてきました。また、先日は歓迎会をしていただきありがとうございました。

これから、在宅復帰を目指して一生懸命働きますのでよろしくお願い致します。



「よろしく申し上げます」



田代 直美

昨年六月より支援員として働かせていただいています。

日々驚き、発見、感動、勉強の毎日です。一日一日があつという間に過ぎてしまいます。福祉の仕事は全くの未経験で最初は戸惑うことも多々ありながら、先生方に色々なことを教えていただき、また時には園生の皆さんが戸惑う私に「先生」と声を掛けてくれて教えてくれます。感謝しています。

「園生、皆の笑顔はとても素敵です。」共に毎日の生活が笑顔で元気に過ごしていただけるような支援ができたらと思っています。皆様、よろしく申し上げます。



「よろしく申し上げます」



川口 昌司

昨年より支援員として働かせていただいています。

今まで福祉の仕事に携わっていたので、随分前からインマヌエルの存在は知っていました。ある日ホームページを見る機会があり、綺麗なつつじに包まれ楽しそうにされている園生の皆さんと職員を拝見し、実際に皆さんと関わり、楽しく働きたいと思い現在に至ります。

まだまだ分からないことばかりですが、頑張っていきたいと思えますのでどうぞよろしく申し上げます。





「ふたたび」



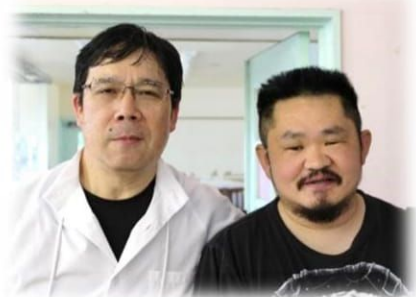
吉野 博之

またご縁がありまして、インマヌエルの厨房で働かせていただくことになりました。

二カ所の御殿場市内の特別養護老人ホームで働いていました。半年ほどでしたが、新しく出来る、インマヌエルの下見のような感じで、いろいろと施設ごとで勉強させていただきました。

新しい施設では、見てきたもの、教えてもらったもの、自分で感じたもの、すべてが出せたらしいなと思っています。

また、調理しながらパーティー料理はこんなものを出そうかな等、色々と考えています。これからまたよろしく願います。



「宜しく願います」



鈴木 至誠

今年一月より支援員（カフェ事業担当）としてお世話になっていきます。

私のバリスタスタイルは、人と人との出会いと関わりを大切にすることにあります。これまでも一杯のコーヒーで数えきれない程の素敵な出会いがありました。その一つがインマヌエルであり、利用者さん、職員の皆様です。

来年秋に完成するカフェでは、利用者さんの生活を彩るカフェにしていきたいです。また、「施設の在り方と存在価値」と「障害者への理解や共存の在り方」を感じ、考えてもらえるような環境づくりをしています。

「施設・利用者」と「地域・社会」を繋ぐ架け橋となれるよう尽力して参りますので宜しく願います。



「よろしく願います」



福原 大樹

今年の二月より支援員として働かせていただいています。

昨年末に一か月間実習でお世話になり、インマヌエルの居心地の良さが忘れられず働かせていただいています。

自分自身も病気で動けなくなり、居場所を失くして生きる意味も分からず五年間を過ごしましたが、家族の支えもあり社会復帰出来ました。人生折り返しの四十代からまったく知らない福祉の世界に飛び込みましたが、園生の皆さんの支えになれるような支援ができるよう日々悩み、楽しみながらやっていますのでこれからよろしく願います。



「みんなが笑顔になる食事

作りを目指して」



今年の4月よりお世話になっております、栄養士の青木です。

園に勤務するようになってまず驚いたのが、食形態の種類が多いことでした。「食べる事は生きること」なので、その人に合った食事を提供できるように取り組んでいかなければと常に感じています。そして厨房には「頼れるプロ」がたくさんいらっしゃいます。その一員として仕事ができることを幸せに思います。

園生のみなさんが毎日楽しみにしている食事です。なので、厨房や職員の皆さんに力をお借りしながら、おいしく、健康に、そして笑顔になるような食事作りをしていけるように努力して参ります。よろしくお願致します。



青木 智美

## 新しい仲間の紹介

「初めまして」



西川 真琴

初めまして、西川真琴といいます。静岡県下田市から来ました。二十三歳です。好きなことはサッカーと音楽を聞くことです。目標は、サッカーがもつとうまくなることと、作業をしっかりと頑張っていきたいと思えます。これからどうぞよろしくお願致します。仲良くしてください。



「初めまして」



松井 隆太郎

初めまして、松井隆太郎と言います。東京都狛江市から来ました。三四歳です。好きなことは、音楽を聴くことや手紙を書くことです。作業とダイエットを頑張りたいと思っています。これからよろしくお願致します。



## 実習生ページ

「実習を通して」

埼玉学園大学 人間学部こども発達学科

黒岩 脩

実習を通して最初は怖かったり引いてしまう部分もありましたが、関わっていくうちに行動の変化なども理解出来、相手の感情を少しかもしれませんが理解する事が出来ました。また、対人関係だけではなくフットサルを通して利用者さんと接する事も出来たのでスポーツを通して利用者さんとの距離を縮められて良かったです。

また、利用者さんと接するうえで同じ利用者さんでも職員によってはアドバイスも違いましたし、その人に合った関わり方などもあると思うので、今後関わる時は自分なりの接し方を見つけ関わっていききたいです。

他にも実習期間中にレクリエーションの時間を設けていただいて、利用者さんはとても参加してくださり良かったですが自分達が部分実習をやった分かった事、反省点、今後の課題など見つけることが出来たので次の実習や仕事などに生かしていきたいと思います。

二週間という短い間でしたが利用者さんと接し



て障害者の方のイメージも変わりましたし、健常者も障害者でも何も変わらないなと思いました。実習は終わってしまいましたが、「インクルージョンカップ」や「インマヌエル祭」などにも積極的に参加出来たら良いなと思います。

初めての实習がインマヌエルの実習で良かったと思います。短い間でしたがお世話になりました。ありがとうございます。

「実習を行った感想」

聖徳大学短期大学部 保育科

松原 智聖

始めは、驚いたことがたくさんありました。オリエンテーションで施設の中に入った際に一人の方が向かって来て対応がわからなく、こわい気持ちでした。食事を一緒にした際には、名札を取られて、どうしたらいいのだろうと考えることがあり、わからないことが多かったです。

職員さんの関わり方を見てみると1人1人違った対応があり、その人の気持ちを第一に考えていたなと感じました。タオルを取って、トイレに行きたいなどその人によってやりたいことは違って、車椅子の方は、自分で動けないので自己主張が強かったなと思いました。また自分で歩けるが、危ないということと止められて職員さんと一緒に歩いてた方もいましたが、自分のやりたいことを補助することが大切だとしり、自分は一人でやりたいことはできませんが、利用者さんは、難しいことが多いので、その人に合った援助が大切だと気付きました。

今回は、インフルエンザで二階で過ごす時間が

多かったですけど限られた空間の中で利用者さんがストレスがたまったりと対応がいつもより気をつかうことが大切だと感じました。また、利用者さんと多く関わりをもって話せない人でもその人の気持ちをよみとってゆつくりと1人1人対応できました。環境を良くすることで感染するリスクを減らしたりと保育の現場にもあることがこれからの役に立つと思いました。

集団で食事をするときも、個人個人、主張することが多くありましたが、全員を見て、この人は待っててね。と言葉を選び、集団の時に個別で対応するということが感じられたことが多かったです。

これから、色々な現場があります。今回施設実習を受けて、学んだことをいかして行き、また、利用者さんのことも思い出していけたら良いなと思います。ここでたくさんの方とを学べ、ありがとうございます。



「実習を終えて」

鶴見大学短期大学部 保育科

龍澤 綾音

十一日間の実習、ご指導していただき、ありがとうございます。大学の授業だけでは学ぶことができないことをたくさん学ばせていただきました。はじめは緊張もあり、どのように声を掛けたらよいか戸惑ってしまう場面もありましたが、

利用者さん、職員の方々に温かく接していただき緊張もほぐれ、施設に通うことが楽しみになっていきました。

反省会の際、利用者さんがどのような理由で施設に入ってこられたのかを伺いました。一人ひとり様々な理由があり、利用者さんの普段の行動の背景が分かりました。反省会後に利用者さんと関わってみると、「今、どんな気持ちなんだろう」「何を思っているんだろう」と考えながら接することができ、もっと深く関わってみたいという気持ちになりました。オリエンテーションの際、知ることが愛することという言葉が心に残りませんが、本当にそうだと実習を通して改めて感じることができました。

私は、利用者さんと関わる中で利用者さんがどういう障害なのか、そればかり知ろうとしていました。しかし、知的障害をもっている一人ひとりが個性があり考えもちがうので、障害ではなくその方の性格だと考えることが大切だと知りました。障害は後から付いてくるものという言葉に共感しました。

これから、保育の現場に立つても障害のある方と関わることもあると思います。インマヌエルで学んだことを思いだし障害は個性だという気持ちで接していきます。毎日充実した学びの多い十一日間になりました。またすばらしい思い出ができました。十一日間本当にありがとうございました。



### 「実習を通して」

聖徳大学心理・福祉学部 社会福祉学科

三戸 春佳

今回の実習を通して、また、今日みどり先生とお話して色々思い出していく中でインマヌエルに連れてよかったと強く思いました。実習が始まる前の不安や戸惑いがあった時の私にそんな考えないでそのまま接していれば大丈夫だよと声をかけてあげたいくらい利用者さんたちと笑って楽しく過ごすことができたと思います。今思うと、インマヌエルに到着して、中に入った時からまだお互いに名前を知らない段階でお手紙をくれたり、「旅行一緒に行こうね」「楽しもうね」と声をかけてくれた利用者さんたちのおかげですぐに緊張もほぐれ、また、障害を持つ人たちへの印象が変わりました。ここには知的の障害を持つ方が主にいるということ、話しかけられないかもしれない、コミュニケーションがとれないかもしれないと思っていたけれどそんなことはなくて、話せなくても内容は理解しているし、話だけではないところでも意思疎通ができていると感じることができました。旅行の時にはご家族が来ている利用者さんと来ていない利用者さんの表情の違いや、施設の中と外での違いなど多くの違いを見ることができたことや職員の方々の働きを見ることが自分にとってとても大切な、意味のある経験になったと思います。職員の方々には旅行中、利用者さんの面倒を見るので大変な中で私たち実習生のことにも常に気にかけてくれました。施設の中でもご飯の際に食事の準備や介助がある中で気にかけて下

さいました。そのような姿からも、人につくしてあげること、支援してあげられることをどんな人にもできる職員の方々には本当に尊敬できると思えました。レクの時には、子ども相手ではなく大人の方、それに椅子やあまり立ってられないという人たちへの環境構成は難しいと痛感するばかりでした。内容も、どういった物だとみんな参加してくれるのか、楽しんでくれるのかを考えるのは大変ではあったのですが、今では今まで思いつかなかったことも思いつくことができるのではないかとこの風にも思っています。遊びの幅、環境構成を考える幅が広がりよかったですと思います。インマヌエルの「利用者さんと自然に対等な関係」という方針を多く感じられる有意義な実習を過ごすことができました。本当に感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました。

### 「実習を通して」

常葉大学保育学部 保育学科

久保田 萌花

十日間という短い間でしたが、お世話になりました。こういった知的障害のある方と関わるのが初めてで、始めは本当に緊張していましたが、十日間、いろいろな利用者さんと関わる中で、離せる人、話せない人関係なく仲良くなることができました。はじめはどう関わって良いかわからなかった人も、自分から話しかけてみることで返事であったり笑顔であったりが返ってきて、特に、



普段あまり笑顔を見せない人が笑顔になってくれた時は本当に嬉しかったです。着替えの介助を拒絶された人から、歩み寄ってもらえた時に、少し心を開いてもらえたのかな、と思いました。自分から話しかけることはとても勇気がいて、戸惑うこともありましたが、必ず何かしらのアクションを返してくれるとわかって、それが自信につながっていきました。ただ利用者さんと話すだけではないのかな、と思うことも多かったです。そうやって利用者さんとのんびり話す時間は楽しかったです。

一人ひとり配慮しなければいけない事が違って、夜勤も経験させていただいて、施設の仕事の大変さを知りました。ですが、職員さんが、「毎日驚きと発見があつて、やりがいのある仕事だ」と話していて、その顔がとても楽しそうで生き生きしていて、確かにそうかもしれない、と感じました。それは他の職員さんと同じで、「この仕事が好きだ」という事が伝わってきました。

この実習を通して、保育の現場でも生かせるな、と思うことがいくつもありません。対象にしている年齢や障害の有無など、全く違うけれど、似ている部分も多くて、根本は同じなのかもしれない、と感じました。自分から心を開いて歩み寄っていくことで、必ず相手も心を開いてくれて、何か返ってくるものがある、ということ、この実習を通して実感しました。ここで学んだことをこれからの実習で生かしていきたいと思います。

貴重な経験をさせていただき、本当にありがと



うございました！

「実習を終えて」

帝京科学大学 教育人間科学部幼児保育学科

小河原 詩織

二週間と言う実習を終えてまず、思ったことは、あっという間だったと思った。長いようで短い期間であったが、利用者さんと関わりながら、いろいろなことを学ぶことができたと感じる。実習に入る前は、知的障害者の施設はどんな所なのか、また利用者さんはどんな人達なのか、とても不安だったが、実習に入ってみると、施設の雰囲気は、明るく、利用者さんも穏やかであり、優しい人達ばかりであった。

ある日、実習に入った日に、そのとき寝不足だったのもあり、眠そうに見えたのか、ある利用者さんが、「眠そうだね。大丈夫？」と言い、「よく寝てね。」と優しく声を掛け心配してくれた。実習が、まだ序盤であり、不安も大きかった為、その言葉を掛けられたときは本当に嬉しかった。利用者さんの優しさに触れながら、優しさを感じることは、大切なことであると感じた。

また、利用者さんによって話し掛けてくる人もいれば、なんとなく遠目で見て、話し掛けたそうにしている利用者さんもあり、そんな利用者さんに話し掛けたときに、戸惑いながらも笑顔で、自分の話をしてくれたり、楽しそうにしてくれたので、話し掛けて見たり、利用者さんの話を聞きな



がら、相手のことを知るといふことの大切さを改めて感じた。

この実習を通して、利用者さんの優しさに触れ、利用者さんと距離を縮められたことは、本当に良い経験になったと思う。

「実習の感想と反省」

労協御殿場地域福祉事業所つばさ

福原 大樹（本年2月に入職）

一ヶ月間と少し長い実習でしたが、終わってみるとあっという間に終わってもしっかりと教わりたことがありました。初日から聖誕劇に参加させていただいたりして利用者との関わり方もわからずどうしたらよいか迷っていたら色々な職員の方に声をかけてもらったり忙しい中こちらの質問にも嫌な顔せず教えてもらえたのが良かったです。

利用者の方とも目を増すことに少しずつですが仲良くなれて（小さいながらも言葉に反応してくれる）（手を差し伸べたらにぎってくる）（何かしてほしい時の意思表示してくれる）（介護の仕事のみなさんが良く言う「喜び・やりがい」が少しですが分かって良かったと思います。

実際に介護の仕事に就いたら良いことばかりじゃなくむしろ良いことなんてほとんど嫌なことの方が多いのかもしれないが他では体験できない「喜び・やりがい」があるのも分かったのがんばれる気がします。

この一ヶ月間の経験は、この先の自分にとって糧になる貴重な時間になりました。ありがとうございました。

## インマヌエル代表クラウン(静岡市民の会クラウン)



### ★市民クラウンとは？

市民クラウンの活動の目的は、そこにいる人に笑顔になってもらうことです。

そのために、クラウンはその能力を最大限発揮して、その場の空気を暖かくします。

毎年11月に、静岡県静岡市では、大道芸ワールドカップが開催されています。

この大道芸ワールドカップの取り組みとして、市民がボランティアとしてクラウンになるという取り組みがあります。

一連の講習を受けた市民が、市民クラウンとして来場者を出迎え、イベント会場での空気形成の一助を担っています。

⇒ **3年前にインマヌエルの職員及び利用者、計3名が講習を受けてクラウンとして現在活躍しています。**

インマヌエルでは、利用者支援の一環も兼ねて市民クラウン活動に参加しています。

上記の大道芸ワールドカップのほか、インマヌエル祭や保育園・地域の行事等にも参加していますので、ご用命があれば、お気軽にインマヌエルまでご連絡ください。



← 菊地隆弘支援員

大道芸ワールドカップボランティア活動として、市民クラウンになって3年がたちました。まだまだ出来ることの少ない僕らですが、持ち前のキャラクターを活かして、皆を笑顔にしていきたいです。

子供たちに囲まれて一緒に遊ぶ事や、普段あまり接点のない人と楽しい時間を共有できる事が楽しいです！！



松田信男さん

いろんなお客さんにみてほしいです！！

がんばります！！



中谷寿士事務員

# 移転事業について

新東名高速道路（第二東名）御殿場 JCT～伊勢原 JCT間の建設工事（2020 年度全面開通予定）に伴い、インマヌエルでは来年秋頃に現在の小山町大御神から新しい場所に移転することを目指し、関係者の方々と協力のうえ準備を進めているところです。

## 新しいインマヌエルについて

新しいインマヌエルについては、(株)イチバンセン（東京都渋谷区、代表取締役：川西康之氏）に設計を委託しています。

現在の設置基準に基づき、かつ現在のインマヌエルの機能・環境を新しい場所でも出来るだけ再現することや、利用者の「安心・安全」を担保できる設備を整えること等も考慮し、恵まれた自然の中で生活できるように、計画しております。



## 建設工事について

建設工事については、今年秋の着工を目指し、入札の準備や関係機関との調整を進めているところです。また、新しい場所の造成工事も並行して進めています。

新しい生活に向けて、利用者、保護者、職員、関係各所の皆様と協力しながら進めてまいります。

## 新しい生活に向けた準備について

上記と並行して、(株)イチバンセン等の協力の下、2014 年より「フューチャーセッション」を開催し、移転事業の進捗報告とともに、利用者・保護者・職員と一緒に移転後の新しい生活について考える機会を設けています。

本年度 6 月のフューチャーセッションでは、新しい施設の個室の間取りや収納について説明・検討する時間を設けたほか、新しいインマヌエルを利用者・保護者・職員が主体となって作っていく取り組みの一環として、木の枝を用いたボードコール作りを行いました。

その他、来年の引越しに備え、園内の片付けや利用者の私物の整理等も進めているところです。



# 相談支援事業所の開設について

～今年7月から相談支援事業所を開設しました！～

社会福祉法人婦人の園では今まで相談支援事業所を持っていませんでしたが、昨今の地域から寄せられる「相談支援を始めてもらえるとありがたい」という声に答え、かつ今後のインマヌエルを地域の社会福祉に貢献する施設として発展させるため、相談支援事業所を下記の通りに開設しました。

事業所名：インマヌエル相談支援事業所ノエル

ノエルはフランス語でクリスマスのことを意味します。クリスマスはイエス・キリストと私たちが出会い、新しい生き方を見出す時。この新しい事業で地域の方々と出会い、お役に立てることを願っています。

ノエルは知的障害を持つ方々が生活していくために必要なことを一緒に考え、サービスの利用などのお手伝いをしていきます。誰もが自分らしく生活していけるよう、本人、御家族と一緒に考えていきたいです。

種類：指定特定相談支援事業所

## ◆サービス内容

### ●基本相談

日常生活で困っていることや福祉サービスの利用案内等、様々な相談を「基本相談」としてお受けします。

### ●計画相談

障害福祉サービスを利用する際にサービス等利用計画を作成し、その利用状況のモニタリング（評価、見直し）、サービス事業者等との連絡調整を行います。

## ◆ご利用方法・料金

- お住まいの市・町の窓口、またはインマヌエル相談支援事業所ノエルまで御相談下さい。
- 利用料は無料をご利用いただけます。

対象：主に小山町・御殿場市に在住する知的障害を持つ方々（18歳以上）

住所：静岡県駿東郡小山町大御神 356-7  
(障害者支援施設インマヌエルと同じ)

連絡先：電話 0550-78-1260 FAX 0550-78-1262  
(障害者支援施設インマヌエルと同じ)

相談日：火・水・木・金

相談時間：10:00～16:00

担当：高橋頼太（管理者）  
高橋みどり（相談支援専門員）





# ♡ 感謝のページ ♡

多くの方々より寄付を頂きました。本当にありがとうございました。  
(2015年9月～2018年5月)

## ♡ 寄付金 ♡ (順不同 敬称略)

岡部 久子 / 阿部 裕行 / 家良 もと子 / 石井 一裕 / 石井 孝一 / 碓井 日出男 /  
遠藤 仁 / 大野 由夏 / 大場 千鶴子 / 尾崎 祐三 / 尾崎 幸恵 / 小野 和枝 /  
小野 美幸 / 加藤 祐子 / 金子 澄夫 / 河西 敏子 / 窪田 久美子 / 幸田 眞由美 /  
小林 洋一 / 佐伯 信恵 / 提箸 一男 / 島崎 篤子 / 清水 正 / 清水 正次 /  
城地 保美 / 高田 村子 / 高橋 集富 / 富田 美樹子 / 内藤 千鶴子 / 舟木 昭夫 /  
堀野 寛 / 三沢 春雄 / 山口 俊子 / 渡辺 樹 / 比留間 京子 /  
社会福祉法人大洋社 / 社会福祉法人寿康会 徳風園 / 社会福祉法人寿康会 平成の杜 /  
社会福祉法人ふじの郷 さつき学園 / 社会福祉法人ミルトス会 駿東学園 /  
大森福興教会 / インマヌエルを支える会 / プロレスリング・ヒートアップ(株) /

## ♡ 寄付物品 ♡ (順不同 敬称略)

北郷婦人部・・・タオル、雑巾 / 御殿場小山中核農業者協議会・・・御殿場コシヒカリ /  
東静岡ヤクルト販売株式会社・・・ヤクルト / 日産プリンス静岡販売株式会社・・・車椅子 /  
舟木昭夫・・・フットサル用ゴールポスト /



東静岡ヤクルト販売 株式会社



日産プリンス静岡販売株式会社

その他、多くの方々から衣類、雑貨などの寄付を頂いております。

## ♡ ボランティア ♡ (順不同 敬称略)

YASZEN / ハローズ / フルヤ トモヒロ / 杉山有香 (TEAM Blush) /  
ベジボーンファミリー / ケカイマル・フラサークル / サウス・サウンド・ブリーズ /  
瀧西太鼓 / ラット (静岡市民の会 クラウン) / 社会福祉法人大洋社 JOY /  
唐木田 至誠 (ポコアポコ) / 山田 実里 (知徳高等学校) / 尾島 唯 (聖徳大学) /  
川崎 るみ (聖徳大学) / 杉山 葵 (常葉大学) / 橋本 愛 / 江頭 静 / 浜本 玲亜 /  
宇津木 里欣 / 山田 将人 / 内田 理栄 / 矢巻 清一 / 滝口 みほ /

## ♡ 助成金 ♡ (順不同 敬称略)

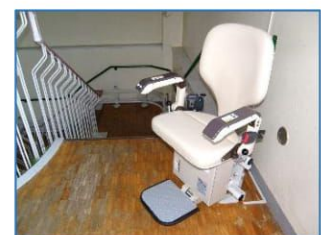
公益財団法人 日本財団・・・車両購入費用 助成  
社会福祉法人 静岡県共同募金会・・・車両購入費用 助成  
静岡労働局・・・階段昇降機購入設置費用 助成



公益財団法人 日本財団



社会福祉法人 静岡県共同募金会



階段昇降機



編 集 高橋永久・吾妻浩子・飯島凌  
福永健彦・竹内麻友実・中谷寿士・福原大樹

2018（平成30）年10月1日発行（年1回発行）

発行部数 500部 通巻36号

発行責任者 施設長 高橋頼太

発行場所 社会福祉法人 婦人の園 障害者支援施設 インマヌエル  
〒410-1308 静岡県駿東郡小山町大御神 356-7

TEL 0550(78)1260 FAX 0550(78)1262

<http://fujinnosono.jp/>

E-mail:LSPimmanuel@hkg.odn.ne.jp